

平成 26 年一級建築士試験「設計製図の試験」
標準解答例の公表について

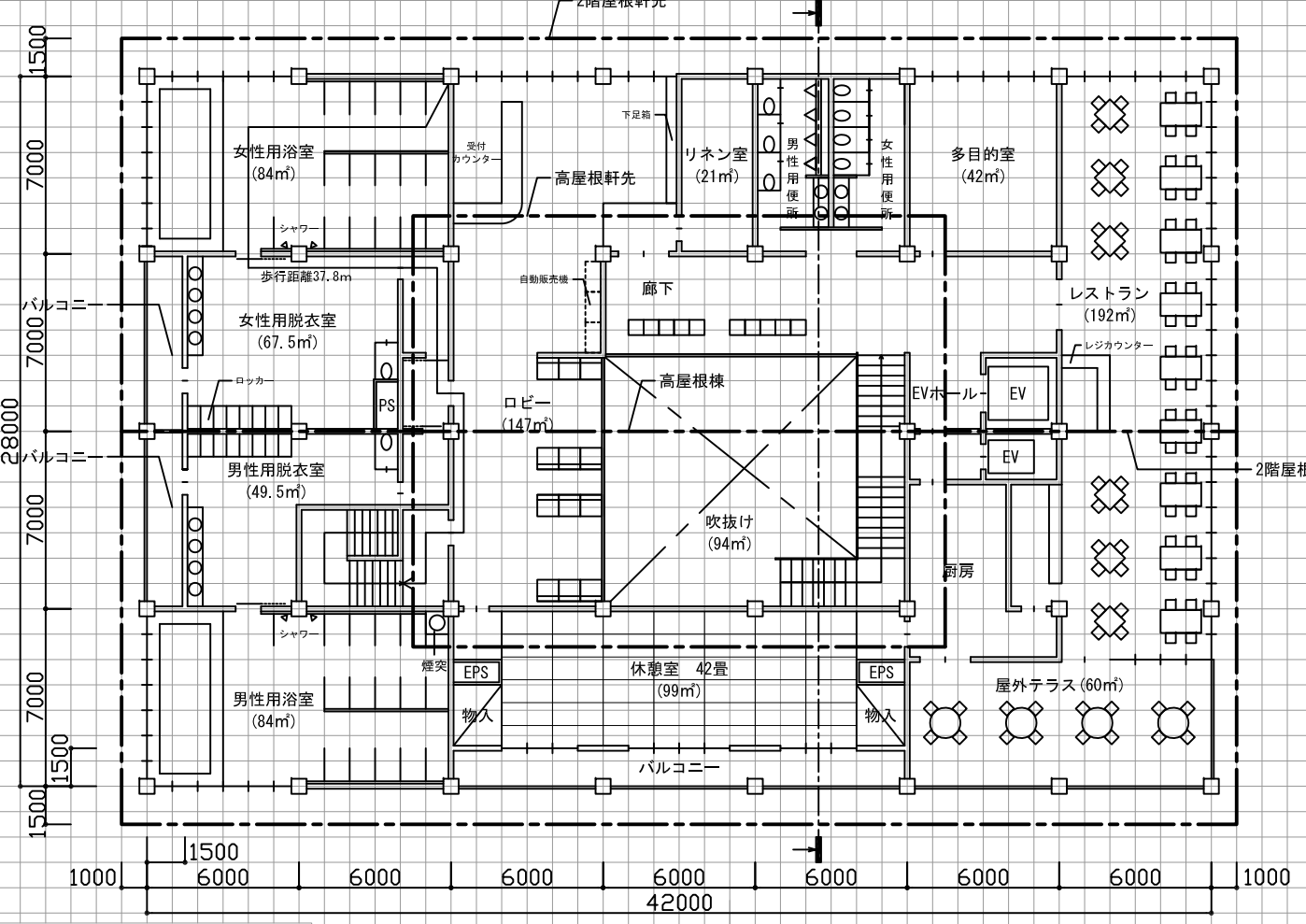
平成 26 年 10 月 12 日(日)に実施された標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

一級建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 2 の規定に基づいて、国土交通大臣の指定試験機関である当センター（理事長 浅野 宏）が実施しています。

記

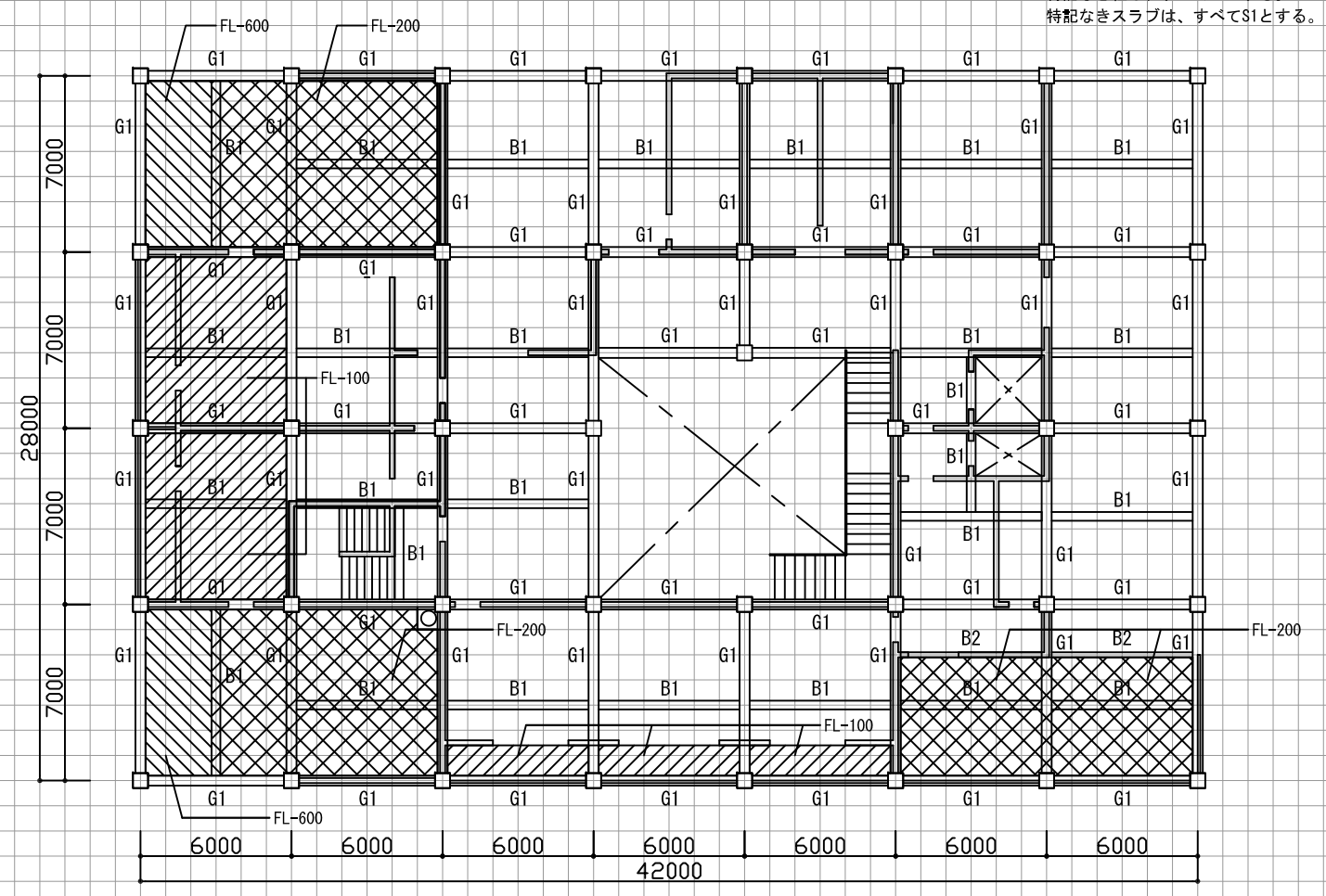
1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <http://www.jaeic.or.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、概要に留めています。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

2階平面図 縮尺1/200



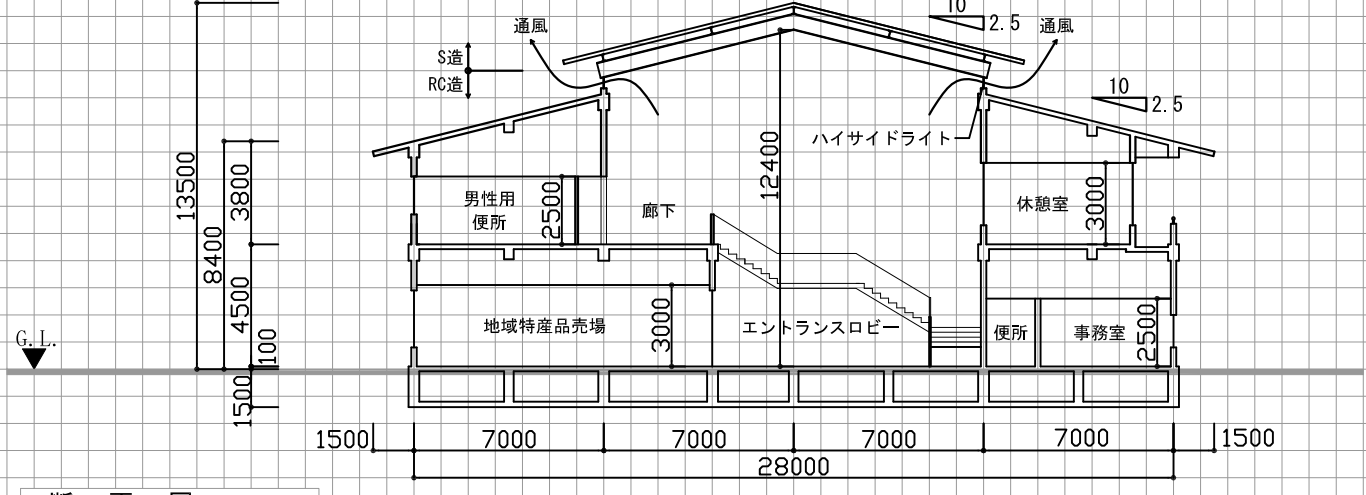
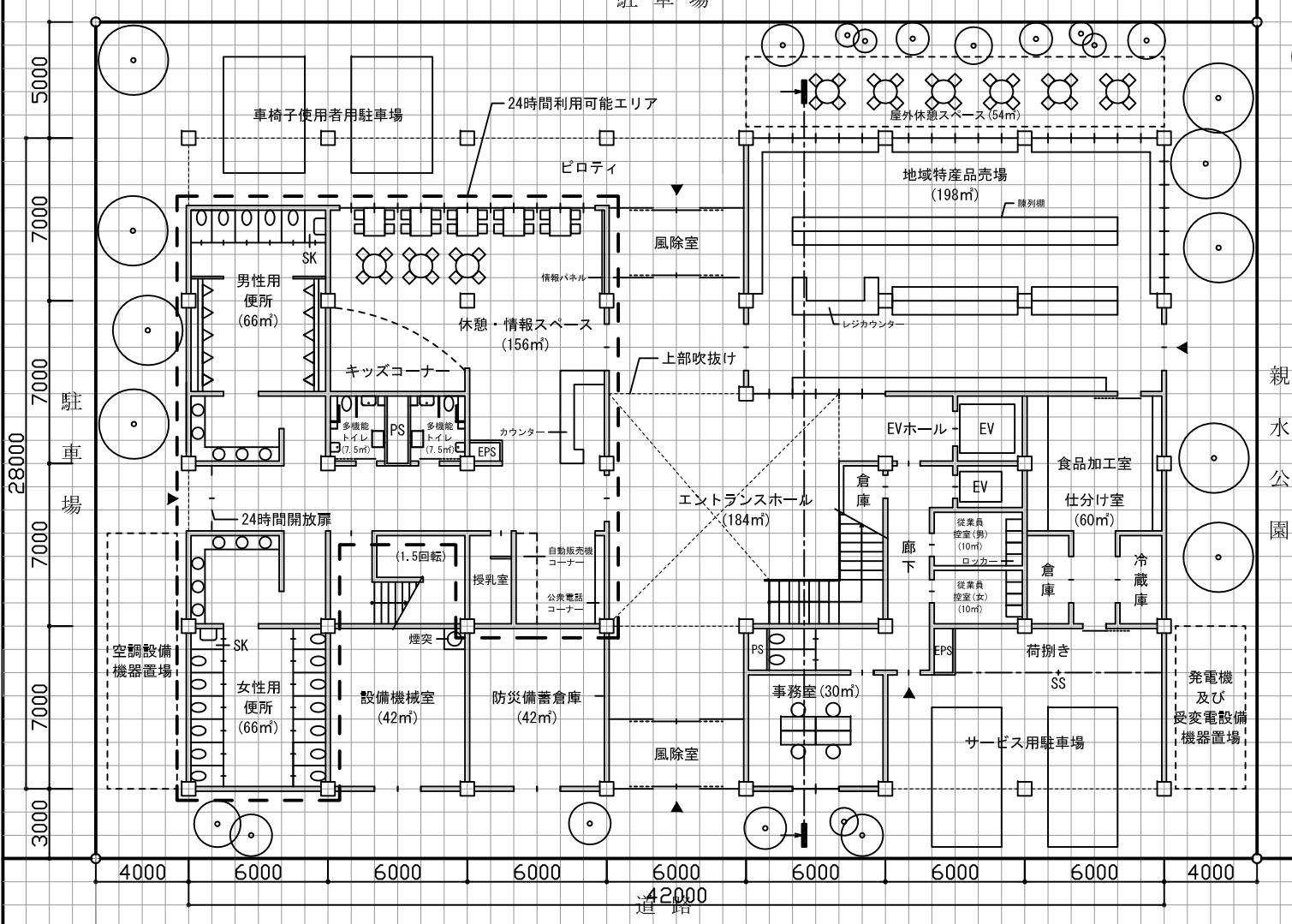
個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

2階梁伏図 縮尺1/200 (2階からの見下がり図とする。)



特記なき柱は、すべてC1とする。
特記なきスラブは、すべてS1とする。

1階平面図兼配置図 縮尺1/200



断面図 縮尺1/200

構造要素の凡例 (必要により、空欄に記入し、図示すること。)		構造部材表 (2階梁伏図に符号を明示する。主要な部材が複数となる場合は空欄に追加記入すること。)					
名称	記号	符号	部材	断面寸法 (mm)	符号	部材	断面寸法 (mm)
		C1	柱①	600×600	B2	小梁②	200×350
		G1	大梁①	400×600			
		B1	小梁①	350×550			
		S1	スラブ①	180			

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)		
建築物の床面積		合計
1階	2階	
(算定式) 42×28-(5×12)-(3×24) (サービス用駐車場) (ピロティ)	(算定式) 42×28-(1.5×18+1.5×14) (バルコニー)	2015.0 m ²
-(1×3) (西側出入口)	-(5×12)-(10×10-2×3) (屋外テラス) (吹抜け)	
小計	小計	
1041.0 m ²	974.0 m ²	2015.0 m ²

計画の要点等の概要

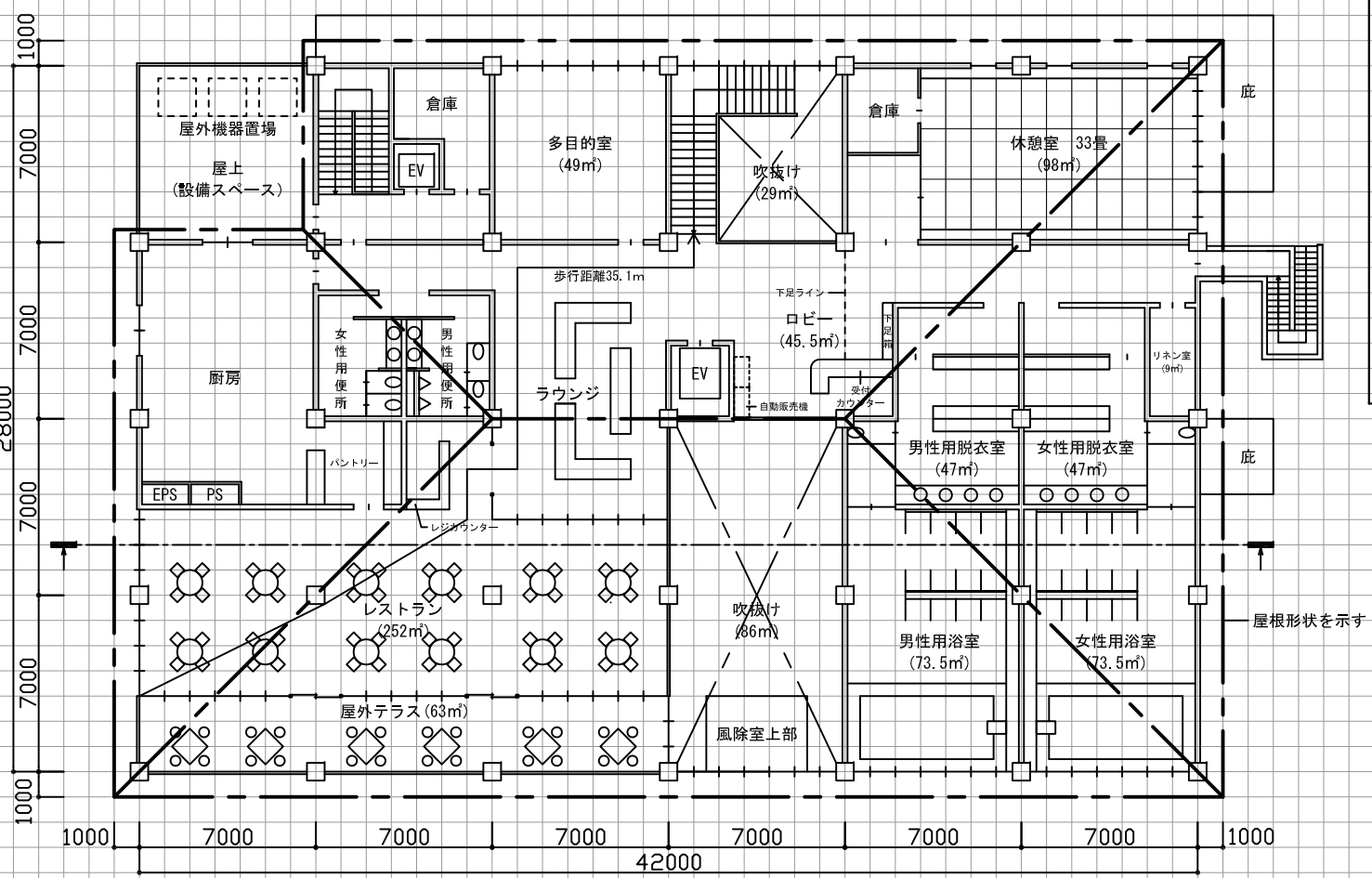
建築計画:
 ・24時間利用可能なエリアは、利用者が駐車場からアクセスしやすいように、1階西側に配置
 ・エントランスホールは、切妻の屋根形状を活かした吹抜けを設け、開放的な空間になるよう計画
 ・温浴部門の休憩室は、眺望のよい2階南側に配置し、軒を深くし、バルコニーを設けることで、日射遮蔽に配慮した計画
 ・ハイサイドライト (開閉式) を設け、自然採光及び自然通風に配慮

構造種別:
 ・鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)

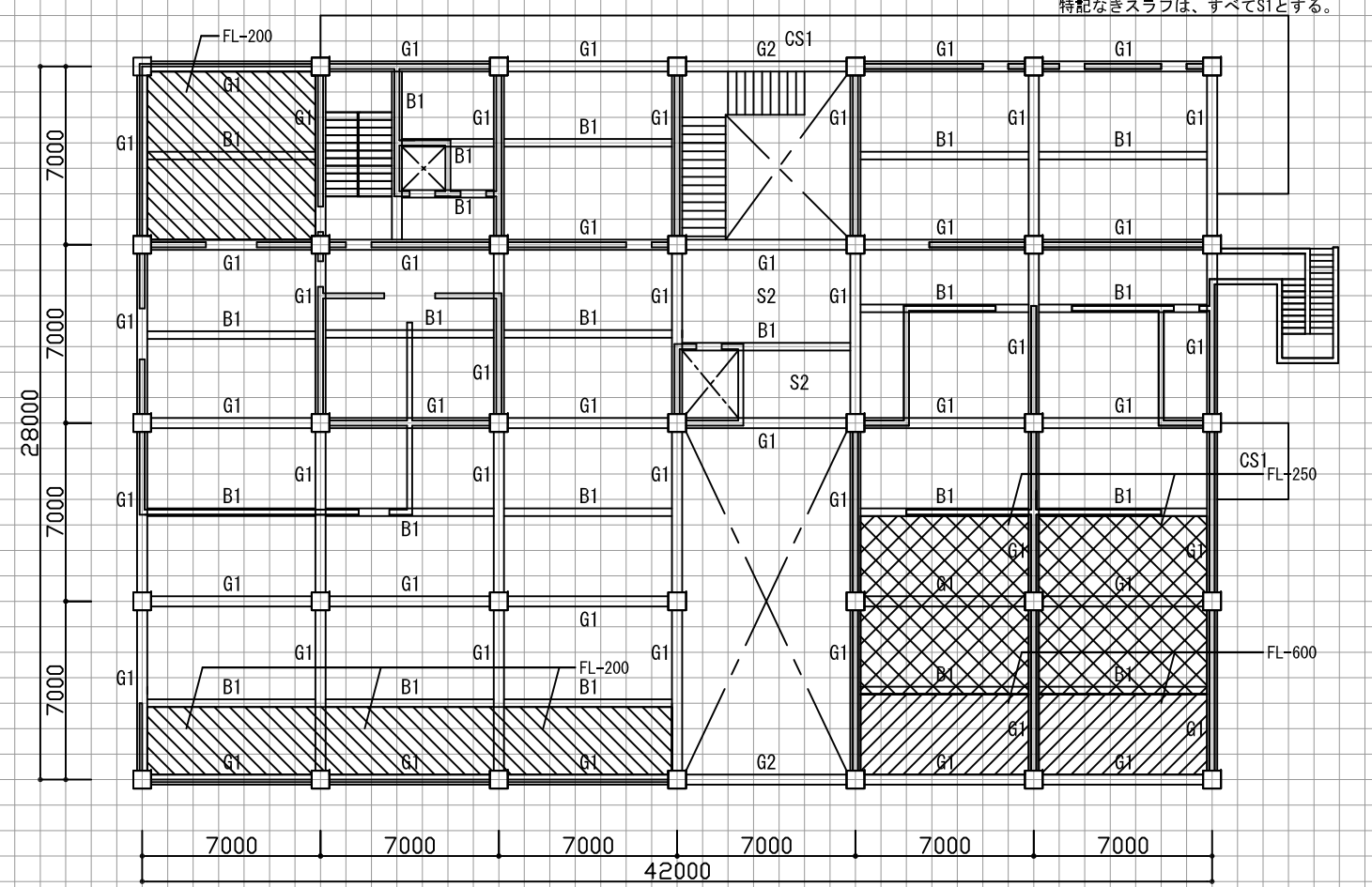
設備計画:
 ・浴室の給湯設備の熱源方式は、ガスボイラー
 ・地域特産品売場の空調方式は、空冷ヒートポンプマルチ方式、室内機は天井カセット型

標準解答例①
 (この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)

2階平面図 縮尺1/200

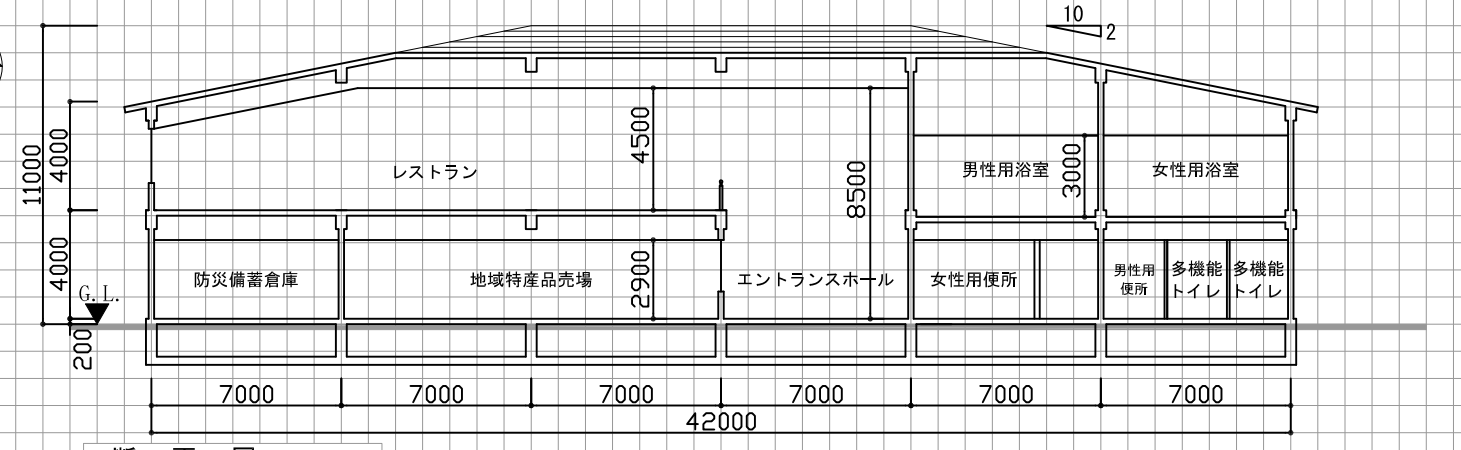
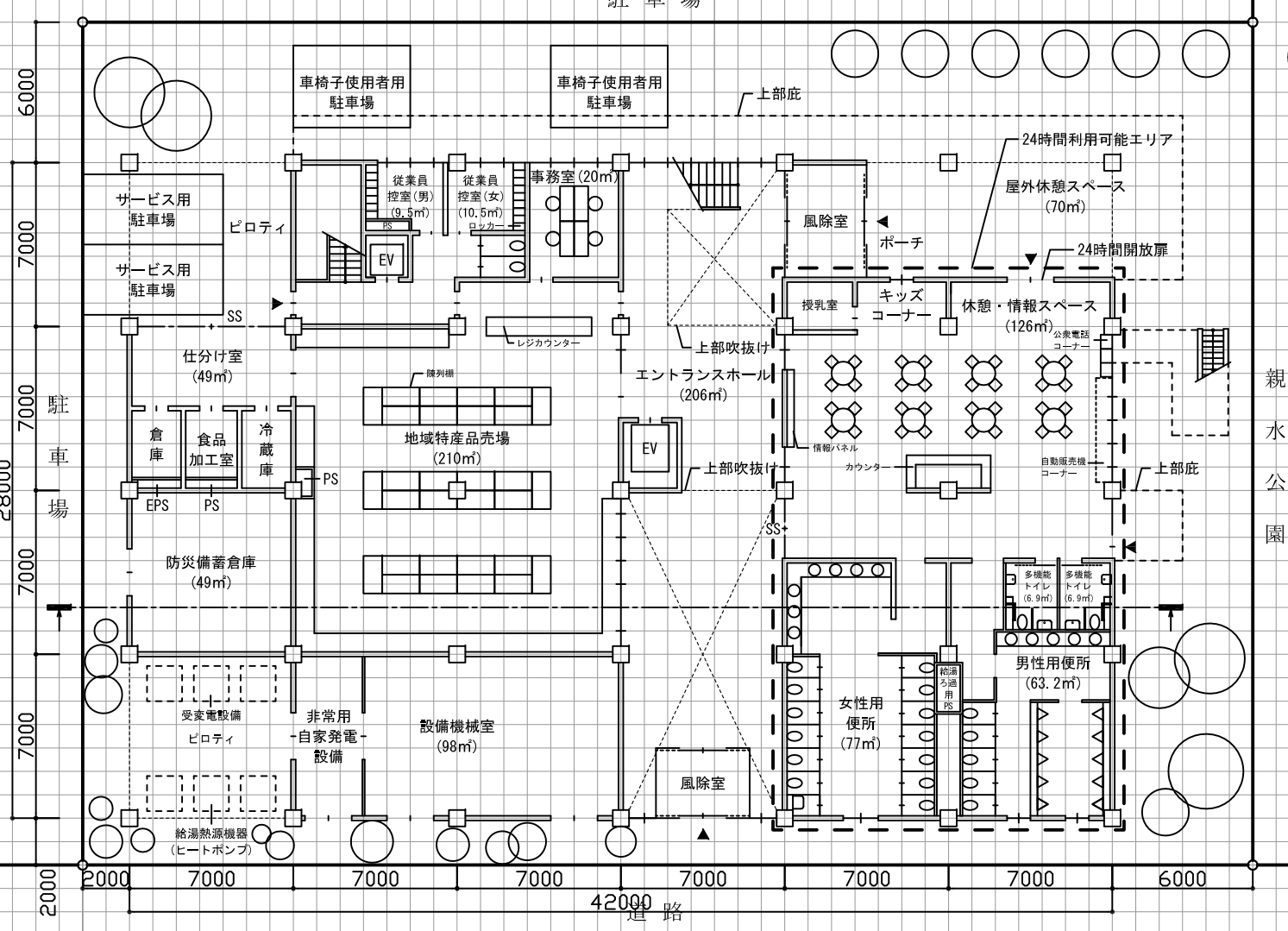


2階梁伏図 縮尺1/200 (2階からの見下げ図とする。)



個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

1階平面図兼配置図 縮尺1/200



構造要素の凡例 (必要により、空欄に記入し、図示すること。)

名称	記号

構造部材表 (2階梁伏図に符号を明示する。主要な部材が複数となる場合は空欄に追加記入すること。)

符号	部材	断面寸法 (mm)	符号	部材	断面寸法 (mm)
G1	柱①	700×700	G2	大梁②	500×700
G1	大梁①	400×700	S2	スラブ②	300
B1	小梁①	300×600	CS1	スラブ③	300
S1	スラブ①	200			

計画の要点等の概要

- 建築計画:
- ・レストランを2階に設け、天井を寄棟の屋根形状を活かし、空間に広がりをもたせ、快適に過ごせるよう計画
 - ・レストランは溪流側、温浴部門の休憩室は親水公園側に計画し、眺望に配慮
 - ・メインエンタランス側に小さい吹抜け、サブエンタランス側にまとまったスペースで吹抜けを設けた計画
- 構造種別:
- ・鉄筋コンクリート造
- 設備計画:
- ・浴室の給湯設備の熱源方式は、電動ヒートポンプ
 - ・地域特産品売場の空調方式は、空冷パッケージによる単一ダクト方式

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

建築物の床面積		合計
1階	2階	
(算定式) 42×28-(3.5×5)-(7×5) (ポーチ) (屋外休憩スペース)	(算定式) 42×28-(7×14)-(5×5+4) (吹抜け1) (吹抜け2)	1962.5㎡
-(7×7)-(7×7) (屋外機器置場) (ピロティ)	-(7×7)-(3×21) (屋外機器置場) (屋外テラス)	
小計 1025.5㎡	小計 937.0㎡	

標準解答例②

(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)